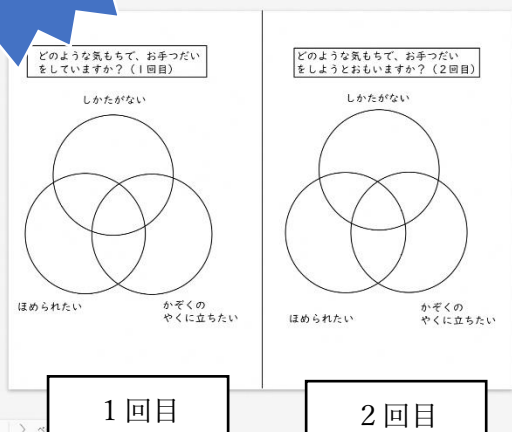


道徳での活用

ICT 活用実践紹介



1 回目

2 回目

【花里小 2 年生の実践「特別の教科道徳」】

教科：道徳

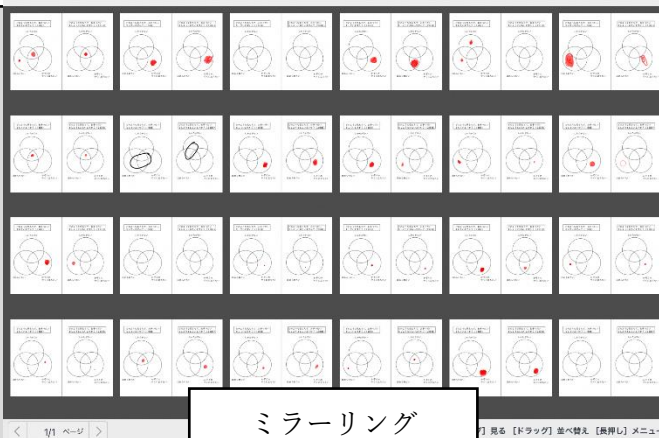
活用ツール：「MetaMoji ClassRoom」

内容：実態の把握

1. 【準備】「MetaMoji ClassRoom」でノートを作成しておく。
2. 【授業】問いに対しての自分の考えに近い場所に印をつける。
〔どのような気持ちでお手伝いをしていますか？〕

授業者の感想

ICT を活用することで子どもの意見を引き出したいと思って活用しましたが…。1 回目と 2 回目の変容を見やすいように並べて配置しました。



ミラーリング



導入時に活用

【岡田のおもいつ記】

今回は、特別の教科道徳の授業です。道徳は道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習だと思います。そういった中で ICT を活用できるポイントはたくさんあります。今回の活用では、①自分の考えをもつ（ICT 端末に示す）②他者の考えを知る（ICT 端末に共有する）③自己を見つめる（ICT 端末に蓄積する）の 3 つができると思います。

ICT を活用しても、授業者の感想にもある「意見を引き出す」ということはなかなかうまくいきません。発問や構造的な板書などで児童一人一人が自分自身の問題と捉え、向き合うことが大前提です。ICT はその補助的な役割しかできません。今回の実践だと低学年なので図の意味が分かりづらいことが考えられるので、自分の考えを示しやすくするために図の色を分ける。仲間の考えを知るためにクラスページにして全員が書き込めるようなノートを活用する。などの改善点が挙げられると思います。クラスノートで全員の考えを知ったり、自分の考えと比べたりしながらそれを基に話し合うのが楽しい道徳かなと思います。